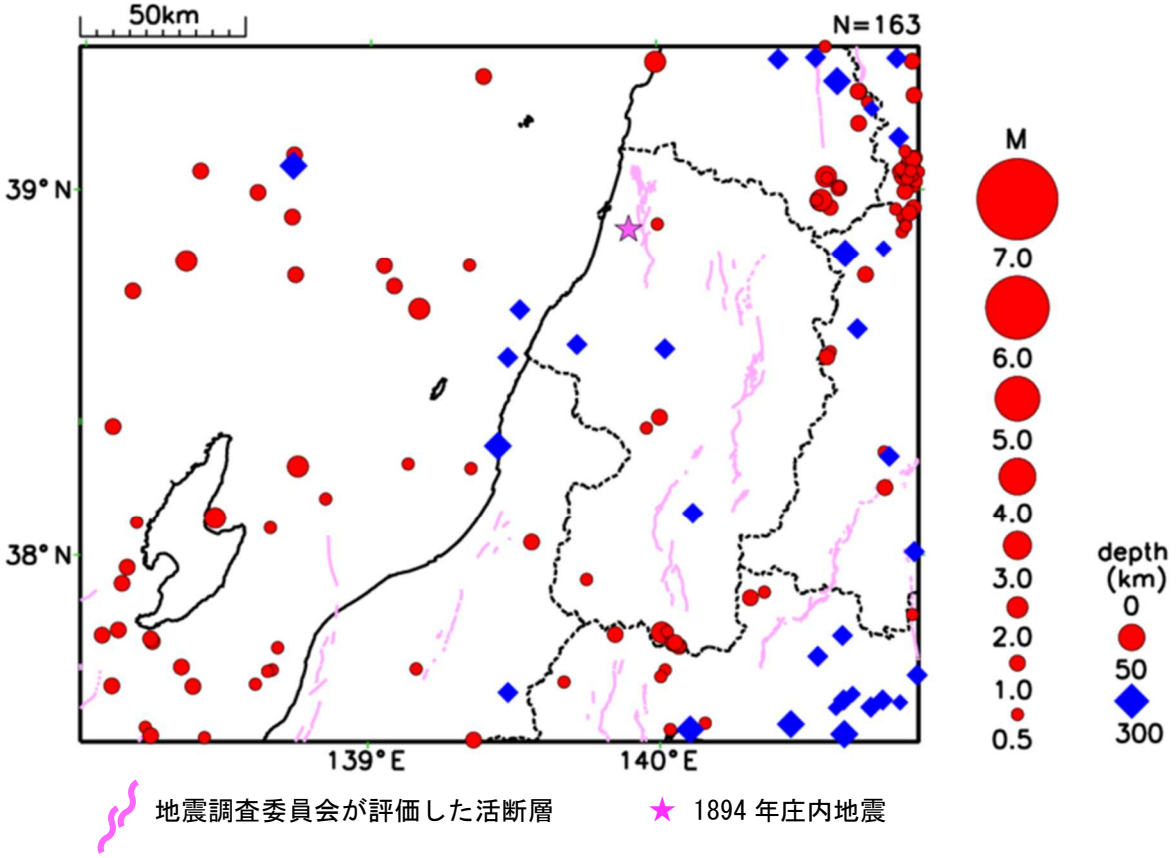
山形県月間地震概況（2025 年 7 月）

山形地方気象台

今期間（7月1日～31 日）の震央分布図



【概況】

この期間、山形県とその周辺（上図の範囲内）で観測した地震は 163 回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は4回（前期間3回）であった。

30 日 08 時 24 分（日本時間）にカムチャツカ半島付近※で Mw8.8（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生し、日本国内で震度2～1を観測した。東北地方では青森県、岩手県、宮城県及び山形県で震度1を観測した。県内では中山町で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。この地震により津波が発生し、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけての広い範囲で津波を観測した。東北地方では岩手県久慈港で 1.4m、宮城県仙台港で 0.9m、青森県八戸港で 0.8m、福島県相馬で 0.7m などの津波を観測した。日本海側では青森県竜飛で 0.1m の津波を観測した（いずれも速報値）。山形県では津波の観測はなかった。この地震に伴い、気象庁は太平洋沿岸などに津波警報及び津波注意報を発表した。山形県には 09 時 40 分に津波予報（若干の海面変動）を発表した。今回の地震により、日本国内で死者1人などの被害が生じた（2025 年8月1日 08 時 00 分現在、総務省消防庁による）。

震度分布：https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250730082452

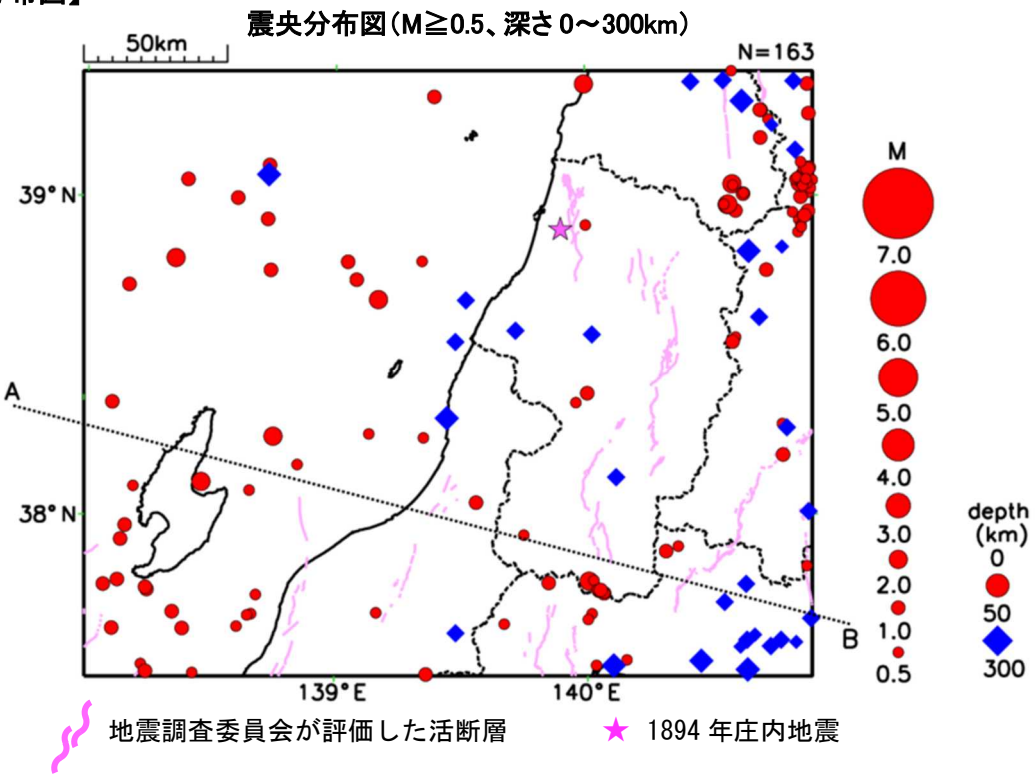
※ 詳細な震源の位置は「ロシア、カムチャツカ半島東方沖」である。なお、詳細な資料は気象庁「令和7年7月の地震活動及び火山活動について」の別紙2（世界の主な地震活動）を参照）

気象庁 HP：https://www.jma.go.jp/jma/press/2508/08e/2507eq-world.pdf#3

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「 M 」として表記している（カムチャツカ半島付近の地震を除く）。

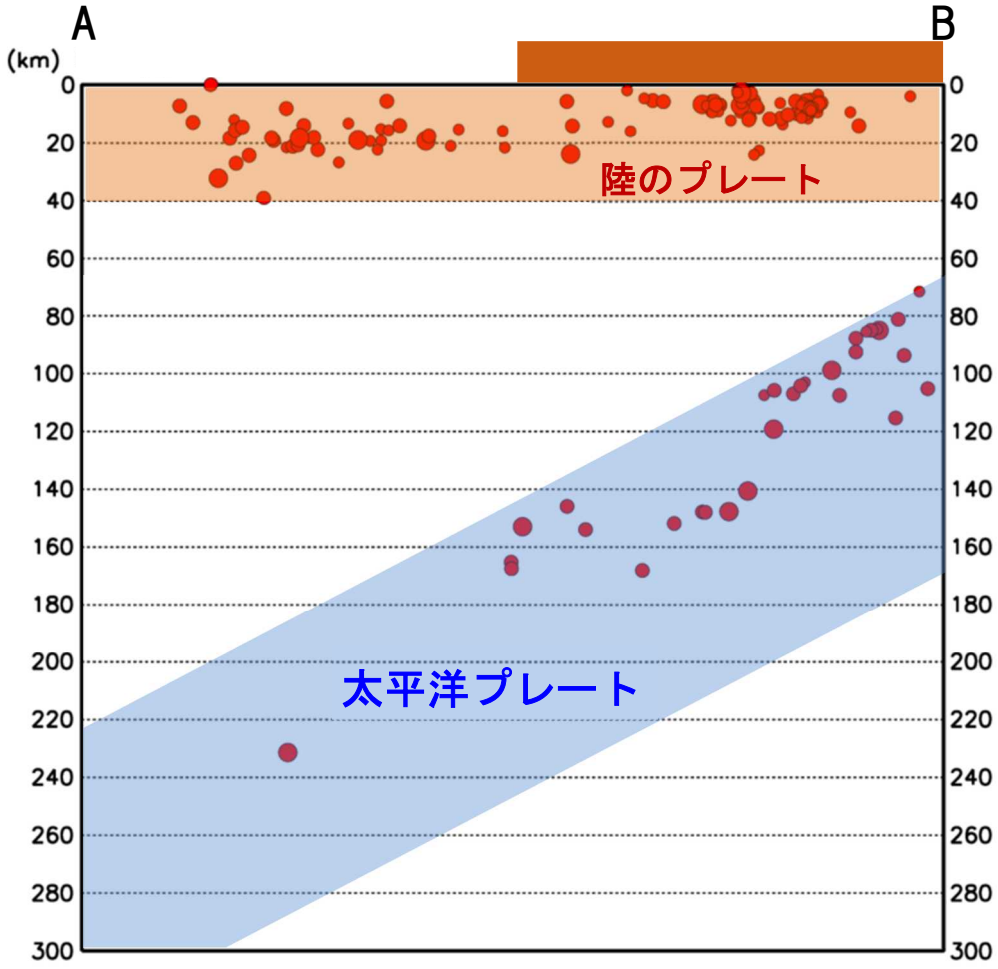
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度１以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度１以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間　2025年７月１日～2025年７月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年07月05日03時14分	福島県沖	36°41.9'N	142°02.6'E	18km	M4.9
山形県　震度１　：上山市河崎＊　米沢市駅前　米沢市アルカディア　高畠町高畠＊　白鷹町荒砥＊					
2025年07月25日12時16分	福島県浜通り	37°03.2'N	140°42.9'E	18km	M4.2
山形県　震度１　：米沢市アルカディア　南陽市三間通＊　白鷹町荒砥＊					
2025年07月28日02時03分	福島県沖	37°50.4'N	141°37.8'E	83km	M4.5
山形県　震度１　：最上町向町＊　戸沢村古口＊　上山市河崎＊　天童市老野森＊　東根市中央＊ 山辺町緑ケ丘＊　中山町長崎＊　尾花沢市若葉町＊　米沢市駅前　米沢市アルカディア 米沢市金池＊　南陽市三間通＊　高畠町高畠＊　山形川西町上小松＊　白鷹町荒砥＊					
2025年07月30日08時24分	カムチャツカ半島付近	52°30.7'N	160°19.4'E	35km	Mw8.8
山形県　震度１　：中山町長崎＊					

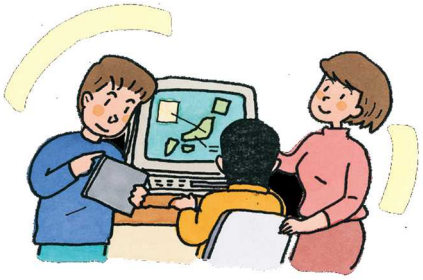
（注）地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。
　　各地の震度は山形県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

火山防災の日とは

広くみなさんに活火山への対策についての関心と理解を深めてもらうため、活動火山対策特別措置法により「火山防災の日」が制定されています。８月26日は明治44年（1911年）に浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、観測が始まった日です。

浅間火山観測所（1913 年 6 月 30 日撮影）



火山防災の日をきっかけに災害への備えを

県内の活火山には鳥海山、肘折、蔵王山、吾妻山があり、人々に景観や温泉など、すばらしい恵みを与えてくれています。その一方、これらの火山はしばらく噴火していませんが、今後も火山災害を引き起こす可能性があります。「火山防災の日」をひとつのきっかけとして、自分の住んでいる場所にどのような危険があるのかハザードマップで確認したり、訓練がある場合は参加しましょう。

特設サイトで火山防災や火山の恵みについて考えてみましょう
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html

登山の前に火山登山者向けの情報提供ページで最新の情報を確認しましょう
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/index.html